

教育大運動1741推進ニュース

2023年12月6日
発行：教育大運動
1741事務局
No.7

豊かな学校教育を実現するために

11月25日、高教組は宮教組と共催して、「教員の長時間勤務に歯止めをかけ 豊かな学校教育を実現するための つどい in 宮城」を開催しました。YouTube ライブを利用したオンラインでの参加も含め、全体で約50人が参加しました。

最初に、教育研究者有志が呼びかけた「教員の長時間勤務に歯止めをかけ、豊かな学校教育を実現するための全国署名」の中心となってきた愛知工業大学の中嶋哲彦さんを講師に迎え講演を行いました。中嶋さんは、教員の長時間勤務をどのように解消し、人間らしい働き方を取り戻し、すべての子どもたちに行き届いた教育を実現するための教育条件整備にもつながる教員増や標準法改正に向けた運動の方向性について豊富な資料を提示しながら丁寧に解説してくれました。

つどいの後半では、会場に参加した教職員などが発言し生々しい実態を訴え、今後、どのように運動を進めていくのかということについて熱い議論を交わすことができました。宮城県教組女性部から、働き方についてのアンケートを基にして、小中学校の働き方の実態が報告されました。中学校教師の1人は、部活でどのような勤務体系になっているのか、また、部活手当の仙台市と宮城県の違いなどを告発。また、もう1人の中学校教師は、なかなか具体化しない部活の地域移行について報告しました。高校現場からは、「高校での未配置はゼロ」だとの県教委の発表の欺瞞性を告発し、産育休や病休の代替が正規教員で充てられず、臨時的任用の講師が配置されている実態や、講師さえも見つからず、学校の努力でなんとか非常勤講師を見つけているのだという過酷な実態を紹介しました。高橋高教組委員長は、教員の長時間勤務や給特法の問題について、「全教7つの提言」を示しながら県高校長協会会長と懇談したことを紹介し、高校の校長先生も、基本的に私たちと同様の考えを示し、特に教員を増やしてほしいという思いは強いのだということを報告しました。また、民間の就職支援の現場から、青年は、より条件の良い職種を選択する傾向が強く、就労先として賃金も低いし残業も多い教師は圧倒的に不利であることは間違いないという発言もありました。

高橋正行高教組委員長は、閉会の挨拶で、今後の行動提起として、教員の働き方の実態を広く市民・県民に知ってもらうためにも、まずは職場の中で声を上げていこう、そして、全国署名を2月の集約まで力を入れて取り組もうと訴えました。

(文：宮城県高等学校・障害児学校教職員組合書記長 八反田史彦 ※事務局にて一部編集)



☆これから開催される予定！

開催自治体	開催場所	日時	集会名	問い合わせ先
山形県南陽市	沖郷防災センターホール	12月9日(土) 13:30~	第20回子育て・くらしを考える交流集会	☎0238-43-2179 (東置賜教職員組合)
京都府京都市	和牛登録会館	12月16日(土) 14:00~	ワクワクする学校に子どもと、親と、先生と	☎075-752-1081 (京都教育センター内)
東京都国立市	ひかりフラザ	12月17日(日) 14:00~	学びをつくる会	詳しくは大運動ポータルサイトからチラシをご覧ください。
石川県金沢市	寺子屋「みのり」	12月22日(金) 16:00~	教科書を読む会 学習会	☎090-5682-2998 (子どもと教科書石川ネット21事務局長 安原昭二さん)
東京都世田谷区	私立和光小学校	12月23日(土)	大好き、詩の授業	詳しくは大運動ポータルサイトからチラシをご覧ください。
石川県金沢市	健康友の会交流広場「みのり」	1月6日(土) 13:30~	第7回 教育を語る会	(教育・くらし・憲法を守る石川教職員の会)

教育大運動1741はポータルサイトを展開しています。下記URLか、二次元コードからご覧ください！URL:<https://www.kyoikudaiundo1747.jp>
ポータルサイトのアドレスは「1747」のままです！



教育大運動1741推進ニュースでは、各地でのとりくみを紹介していきます。各地のとりくみ報告を送ってください。あれば写真も送付してください。

Mail: kyoikudaiundo1741@educas.jp